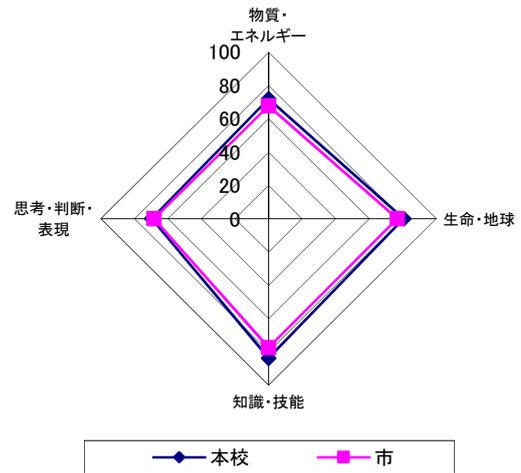


宇都宮市立御幸小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	71.9	67.8	64.1
	生命・地球	80.6	76.7	78.3
観点別	知識・技能	83.7	77.4	78.3
	思考・判断・表現	69.6	68.3	66.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>○領域全体の正答率は市の平均を4.1ポイント上回っている。</p> <p>○問題の内容別に正答率を比較しても、ほぼ全ての内容で市の平均を上回り、特に「物の燃え方」では8.4ポイント上回っている。</p> <p>●「物のとけ方」のろ過の方法に関する設問及び水溶液の重さを推察する設問において市の平均を大きく下回った。</p> <p>●「ふりこのきまり」の糸の長さや周期に関する設問における正答率は市の平均を上回っているものの、47.9%と低い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験や観察の結果に直結する内容についての正答率が高い。これは、ほとんどの実験を個別に行い、一人一人が器具を操作することができたためと考えられる。今後も、実験や観察を可能な限り少人数で行い、その後、共通の体験をもとに話し合い、学びを深める活動を取り入れていく。 ・ ろ過の方法など基本的な実験の技能に関しては、学習中の確実な習得を図るため、器具を操作する時間を全員確保した上で、機会あるごとに繰り返し指導し、定着を図っていく。 ・ 物質(粒子)やエネルギーに関する概念を構築するため、モデルや比喻を使ってイメージをもてるような支援を行い、3年生からの長期的な概念構築をしていく。 ・ 昨年の反省に基づき、科学的な用語や法則などの基礎的な知識についての復習問題等に適宜取り組んできた。今後も、復習の時間を定期的に設定し、知識の定着を図っていく。
生命・地球	<p>○領域全体の正答率は市の平均を3.9ポイント上回っている。</p> <p>○問題の内容別に正答率を比較しても全ての内容で市の平均を上回り、特に「植物のつくりとはたらき」では8.1ポイント上回っている。</p> <p>●「天気の変化」における台風の動きを推測する設問及び「動物のからだのつくりとはたらき」における血液循環に関する設問において、正答率が市の平均を下回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物質・エネルギー領域と同様、個別あるいはペアで活動し、自分で実験して確かめた内容についての正答率が高い。今後も全員が実験や観察に取り組めるように活動を設定し、学びを深めていく。 ・ 昨年度の反省を踏まえ、授業で扱わなかった植物や動物に関しては映像資料等で補足するようにした。今後も、ICTを積極的に活用し、学びを広げ、知識を体系的に捉えられるよう支援していく。 ・ 「天気の変化」は生活に密接に関わる内容であることから、生活の文脈の中で学習できるよう、時機を捉え、児童の中から課題を引き出すようにしていく。